



経済協力開発機構 (OECD)
Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)

国際教員指導環境調査 (TALIS) 2018
Teaching and Learning International Survey (TALIS) 2018

校長質問紙

小学校

本調査版
日本語版

国内調査実施 : 文部科学省国立教育政策研究所

国際コンソーシアム :

国際教育到達度評価学会 (IEA) (オランダ、ドイツ)

オーストラリア教育研究所 (ACER) (オーストラリア)

カナダ統計局 (カナダ)

国際教員指導環境調査（TALIS） 2018 について

国際教員指導環境調査（TALIS）2018 は、校長及び教員の皆様に、教育分析や教育政策の進展の一助を担っていただく国際調査です。TALIS は経済協力開発機構(OECD)によって実施されており、日本は他の 40 以上の国とともにこの調査に参加しています。

調査で得られるデータの国際分析により、自国と同様の課題に直面している国がどこなのかが明らかになり、他国の政策から学ぶことが可能になります。校長及び教員の皆様には、これまでに受けた職能開発、自身の教育に対する信念や教育実践、教職についての概観、職務へのフィードバックや評価、その他、学校のリーダーシップ、運営管理、職場の問題などに関する様々な事柄について情報を御提供いただきます。

国際調査であることから、日本の事情に必ずしもそぐわない質問があるかもしれませんが、それらの質問については、回答可能な範囲で記入していただければ結構です。

機密保持

この調査で集められた全ての情報は厳重に取り扱われます。国別及び学校種別のデータは公表されますが、この調査の結果に関するいかなる報告書においても、個人や学校が特定されることは決してありません。調査への参加は任意であり、いつでも取りやめることができます。

質問紙について

- ・この質問紙では、学校教育や教育方針に関する情報をお尋ねします。
- ・この質問紙は校長先生を対象としていますが、必要に応じて、あなたの学校の他の先生と相談の上、回答していただいても結構です。
- ・この質問紙への回答に要する時間は、およそ 40～50 分間です。
- ・質問の多くは、当てはまるものを一つ選び○を付けて回答するものです。
- ・この質問紙への記入が終わりましたら、校内締切日までに、校内担当者に御提出願います。
- ・この質問紙及び調査に関して御不明な点等がありましたら、校内担当者を通じて国立教育政策研究所までお問い合わせください。

御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

校長先生御自身について

以下の質問は、あなた御自身、あなたが受けた教育、及びあなたの校長としての立場に関するものです。質問への回答に当たっては、当てはまるものに○を付けるか、必要に応じて数字を記入してください。

問1 あなたの性別はどちらですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 男性
- 2 女性

問2 あなたの年齢をお答えください。

数字を記入してください。

□□ 歳

問3 あなたの最終学歴は、以下のうちどれですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 中学校以下
- 2 高等学校
- 3 高等学校専攻科
- 4 短期大学・高等専門学校・専門学校
- 5 大学学部
- 6 大学院修士課程・大学院博士前期課程・専門職大学院（例：教職大学院）
- 7 大学院博士後期課程

問4 常勤か非常勤かに関わらず、あなたの勤務経験は何年ですか。

出産休暇や育児休業などの長期休暇・休業の期間は除外してください。

各項目に数字を記入してください。経験がない場合は0（ゼロ）と記入してください。

1年未満は1年に切り上げて記入してください。

- (1) □□ 年：現在の学校での校長としての勤務年数
- (2) □□ 年：校長としての通算勤務年数
- (3) □□ 年：校長以外の他の学校管理職（副校長・教頭）としての勤務年数
- (4) □□ 年：教員としての通算勤務年数（教育委員会の指導主事等としての年数を含む）
- (5) □□ 年：上記以外の仕事での勤務年数

問5 勤務時間に関して、あなたの校長としての現在の雇用形態は、以下のうちどれですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 常勤（常時勤務の90%を超える労働時間）で、かつ、授業を行う義務がない
- 2 常勤（常時勤務の90%を超える労働時間）で、かつ、授業を行う義務がある
- 3 非常勤（常時勤務の90%以下の労働時間）で、かつ、授業を行う義務がない
- 4 非常勤（常時勤務の90%以下の労働時間）で、かつ、授業を行う義務がある

問6 あなたが受けた公的な教育や研修には以下のことが含まれていましたか。含まれていた場合に、それを受けたのは校長就任前と後のどちらでしたか。

(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

就任前	就任後	就任前と後	含まれていない
-----	-----	-------	---------

- (1) 学校管理に関する、あるいは、校長を対象とした研修プログラムやコース 1..... 2..... 3..... 4
- (2) 教員としての研修/教育プログラムやコース 1..... 2..... 3..... 4
- (3) 学習指導に関する指導力についての研修やコース 1..... 2..... 3..... 4

問7 過去12か月の間に、以下の校長向けの職能開発に参加しましたか。

職能開発とは、個々人の技能や知識、専門性を開発するための諸活動のことを言います。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 教科の内容、指導法、教育に関するコースやセミナー 1 2
- (2) リーダーシップに関するコースやセミナー 1 2
- (3) 対面式の講座やセミナー 1 2
- (4) オンライン上の講座やセミナー 1 2
- (5) 教員、校長や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議..... 1 2
- (6) 公式な資格習得プログラム（例：学位課程） 1 2
- (7) 公式な取り組みである同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動..... 1 2
- (8) 校長の職能開発を目的とする校長の研究グループへの参加 1 2
- (9) 専門的な文書や書物を読むこと 1 2
- (10) その他..... 1 2

問 8 以下の各領域について、それぞれの程度、職能開発の必要性を現在感じていますか。

(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全くなし	あまりなし	ある程度	高い
------	-------	------	----

- (1) リーダーシップに関する新しい研究や理論についての知識や理解 1 2 3 4
- (2) 現在の国や地方自治体の教育政策についての知識や理解 1 2 3 4
- (3) 学校の質を向上するためのデータの活用 1 2 3 4
- (4) 学校の教育課程の編成 1 2 3 4
- (5) 教員向け、又は教員と共に行う職能開発の計画 1 2 3 4
- (6) 授業実践の観察 1 2 3 4
- (7) 効果的なフィードバックの与え方 1 2 3 4
- (8) 公平さと多様性の促進 1 2 3 4
- (9) 教員間の連携の向上 1 2 3 4
- (10) 人事管理 1 2 3 4
- (11) 財務管理 1 2 3 4

問 9 職能開発にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。

(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまるもの一つに○を付けてください。

全く妨げにならない	妨げにならない	妨げになる	非常に妨げになる
-----------	---------	-------	----------

- (1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数） 1 2 3 4
- (2) 職能開発は費用が高すぎる 1 2 3 4
- (3) 雇用者からの支援が不足している 1 2 3 4
- (4) 職能開発の日程が自分の仕事のスケジュールと合わない 1 2 3 4
- (5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない 1 2 3 4
- (6) 自分に適した職能開発がない 1 2 3 4
- (7) 職能開発への参加に対するインセンティブ（例：奨励金）がない 1 2 3 4

あなたの学校について

問10 学校が所在する市町村は、以下のどれに当たりますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。（東京23区は「5」を選択してください。）

- 1 人口3,000人以下の市町村
- 2 人口3,000人を超え、1万5,000人以下の市町村
- 3 人口1万5,000人を超え、10万人以下の市町村
- 4 人口10万人を超え、100万人以下の市町村
- 5 人口100万人を超える市町村

問11 通常の年度における、あなたの学校の財源のうち、次のものがそれぞれ何%を占めていますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまる数字を記入してください。

該当しない場合は0(ゼロ)と記入してください。

- | | |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 公的資金（国、地方自治体、国際的な機関を含む） | □□□ |
| (2) 保護者負担の授業料又は手数料 | □□□ |
| (3) 寄付金、遺贈、スポンサー、保護者による基金 | □□□ |
| (4) その他 | □□□ |

問12 あなたの学校は、以下のうちどれですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 国公立
- 2 私立

問13 あなたの学校の以下の(1)～(5)に該当する教職員数(人数)を教えてください。

複数の項目に該当することもあります。各項目に数字を記入してください。

該当しない場合は0(ゼロ)と記入してください。

- (1) 教員
児童への指導を主たる業務とする者
- (2) 指導支援に携わる職員
教員の補助者や教員以外で指導や教員補助を行う職員、教育課程や学習指導の専門職、教育メディアに関する専門職(司書)、心理学や看護の専門職を含む
- (3) 学校の事務に携わる職員
受付担当者、秘書、事務補助員を含む
- (4) 学校の経営に携わる職員
校長、副校長・教頭、その他学校経営に関することを主たる業務とする者を含む
- (5) その他の職員

問14 あなたの学校の以下の(1)～(3)に該当する教職員数(人数)を教えてください。

非常勤の教職員、及び今年度に勤務を始めた教職員も含めてください。

定年退職、出産休暇・育児休業、臨時教員などの、何らかの事情がある教職員も数えてください。

0人	1～5人	6～10人	11～15人	16人以上
----	------	-------	--------	-------

- (1) 過去12か月の間で、この学校で勤務を始めた教員1..... 23..... 45
- (2) 過去12か月の間で、異動や退職などにより、恒久的にこの学校を離れた教員1..... 23..... 45
- (3) 授業がある直近の火曜日に欠勤した教員1..... 23..... 45

問15 あなたの学校では、以下の学校段階の教育を行っていますか。また、行っているのであれば、その学校は、地域において、児童生徒の確保について他の学校と競合していますか。

各選択肢について、(A)欄の「行っている」又は「行っていない」のいずれかに○を付けてください。

(A)欄で「行っている」と答えた場合は、児童生徒の確保について競合している他の学校の数について、(B)欄の当てはまるものに一つ○を付けてください。

	(A) 学校段階		(B) 競合		
	行っている	行っていない	2校以上と競合している	1校と競合している	競合していない
(1) 幼稚園・保育所・認定こども園	1	2	1	2	3
(2) 小学校（義務教育学校前期課程を含む）	1	2	1	2	3
(3) 中学校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む。以下同じ）	1	2	1	2	3
(4) 高等学校（中等教育学校後期課程を含む。以下同じ）普通科・総合学科	1	2	1	2	3
(5) 高等学校専門学科	1	2	1	2	3

問16 現在の全学年の在学者数は何人ですか。

数字を記入してください。

□□□□ 人

問17 あなたの学校において、以下の特性を持つ児童の割合を推定してください。なお、義務教育学校の場合は前期課程(小学校段階)について、以下の特性を持つ児童のおよその割合を推定してください。

(2)の「特別な支援を要する児童」とは、精神的、身体的又は情緒的に困難な条件にあることによって、特別な学習を行う必要性が公式に認定されている児童を指すものとします。(これらの児童に対しては、多くの場合、その教育支援のために公的あるいは民間からの何らかの追加的な(人的、物的、財政的)資源が提供されています。)

(3)の「社会経済的に困難な家庭環境」とは、住居や栄養、医療などの生活上必要な基礎的な条件を欠いている家庭環境のことをいいます。

(4)の「移民の児童」とは、日本以外で生まれた人を指します。「移民の背景を持つ児童」とは両親が日本以外で生まれた人のことを指します。

(5)の「難民」とは、法的な地位に関わらず、武力闘争、政治的抑圧、宗教迫害、自然災害などから身を守るために、国外へ避難した人を指します。

一人の児童が複数の選択肢に当てはまることもあり得ますので、(1)~(4)の回答の合計が100%になる必要はありません。

(1)~(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	1% ~ 10%	11% ~ 30%	31% ~ 60%	61%以上
----	-------------	--------------	--------------	-------

- (1) 母語が日本語でない児童 1 2 3 4 5
- (2) 特別な支援を要する児童 1 2 3 4 5
- (3) 社会経済的に困難な家庭環境にある児童 1 2 3 4 5
- (4) 移民の児童、又は移民の背景を持つ児童 1 2 3 4 5
- (5) 難民の児童 1 2 3 4 5

学校のリーダーシップ

問18 あなたの学校には、学校運営チーム（例:運営委員会）がありますか。

「学校運営チーム」（例：運営委員会）とは、学校が適切に機能するため、学習指導、資源の活用、カリキュラム、評価に関する意思決定や、その他の戦略的意思決定を主導・運営することについて責任を有する学校内の集団を指します。チームは、典型的には、校長、副校長・教頭、主任等（分掌や教科の長）により構成されます。

日本の法令上の学校運営協議会や学校評議員、学校法人の理事会や評議員会は、この「学校運営チーム」には当たりません。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問20へお進みください。

問19 学校運営チーム（例：運営委員会）には、現在、以下の人々が参加していますか。

(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

	はい	いいえ	該当なし
(1) 校長.....	1	2	3
(2) 副校長・ 教頭	1	2	3
(3) 財務の管理者	1	2	3
(4) 主任	1	2	3
(5) 教員	1	2	3
(6) 保護者	1	2	3
(7) 児童.....	1	2	3
(8) その他	1	2	3

問20 あなたの学校では、以下のことについて重要な責任を持つのはどなたですか。

「重要な責任」とは、意思決定が行われる際、積極的な役割を果たすことをいいます。

(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

校長	校長以外の 学校運営 チーム メンバー	学校運営 チーム メンバー 以外の教員	教育委員会 ・ 文部科学省
----	------------------------------	------------------------------	---------------------

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 教員の採用 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (2) 教員の解雇又は停職 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (3) 教員の初任給（給与体系を含む）の決定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (4) 教員の昇給の決定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (5) 学校内の予算配分の決定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (6) 児童の品行規則の設定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (7) 児童の評価方針（全国的な評価方針を含む）
の設定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (8) 児童の入学許可 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (9) 教科書・教材の選定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (10) 履修内容（全国的なカリキュラム（学習指導
要領）を含む）の決定 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (11) 履修コースの選定 | 1 | 1 | 1 | 1 |

問21 あなたの学校において、あなたは、以下の(1)～(7)の校長としての仕事に、一学年度の平均で、それぞれどれだけの割合の時間を費やしますか。

およその値で結構ですので、各欄に数字を記入してください。全くない場合には0(ゼロ)と記入してください。

合計して100%になるようにしてください。

- | | | | | | | |
|-----|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|---|---|
| (1) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | 管理に関する業務や打合せ
規則管理、報告、学校の予算管理、日程や学級の編制、国や自治体関係者からの要請への対応を含む |
| (2) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | リーダーシップに関する業務や打合せ
方針の立案、学校改善計画の策定などのリーダーシップ及び統率活動、教職員採用などの人事管理を含む |
| (3) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | 教育課程や学習指導に関わる業務や会議
カリキュラム開発、授業、学級観察、児童の評価、組織内指導（メンタリング）、教員の職能開発を含む |
| (4) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | 児童との関わり
規律管理、カウンセリング、課外での対話を含む |
| (5) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | 保護者との関わり
公式なものとは非公式なもの双方を含む |
| (6) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | 地域コミュニティや産業界との関わり |
| (7) | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | <input type="text"/> | % | その他 |
| | | <hr/> | | | | |
| | | 100 | | | % | 合計 |

問22 過去 12 か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。

(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	時々	頻繁に	非常に頻繁に
----	----	-----	--------

- (1) 学級内の規律の問題を教員と協力して解決した 1 2 3 4
- (2) 授業を観察した 1 2 3 4
- (3) 観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った 1 2 3 4
- (4) 新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った 1 2 3 4
- (5) 教員が指導能力の向上に責任を持つよう具体的な取組を行った 1 2 3 4
- (6) 教員が担当する児童の学習成果について責任を感じるよう具体的な取組を行った 1 2 3 4
- (7) 保護者に学校と児童の成果についての情報を提供した 1 2 3 4
- (8) 学校事務に関する手順や報告について見直した 1 2 3 4
- (9) 時間割に関する問題を解決した 1 2 3 4
- (10) 困難を感じている業務について他校の校長と協働した 1 2 3 4
- (11) この学校での研修計画の策定に関わった 1 2 3 4

教員への公的な評価

このセクションでは、教員の仕事を校長、外部の個人又は機関や同僚教員が審査することを「評価」と定義します。ここでは、公式な手法（例：所定の手続や基準に基づく正規の業績管理システムの一部として行われる場合）によるものを対象とします。

問23 あなたの学校では、以下の人々による各教員への公的な評価が、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

いずれの選択肢もあなたの学校の状況にそぐわない場合には、最も近い選択肢を選んでください。

なし	2年に 1回未満	2年に 1回	1年に 1回	1年に 2回以上
----	-------------	-----------	-----------	-------------

- (1) 校長.....1.....2.....3.....4.....5
- (2) 校長以外の学校運営チームメンバー1.....2.....3.....4.....5
- (3) 校内指導者（メンター）1.....2.....3.....4.....5
- (4) 学校運営チームメンバー以外の教員1.....2.....3.....4.....5
- (5) 外部の個人又は機関による評価
（例：文部科学省の関係者、地方自治
体の関係者、教育委員会の関係者、
その他の学校教職員以外の者）1.....2.....3.....4.....5

上記の全ての項目で「なし」と答えた場合 → 問26へお進みください。

問24 あなたの学校では、公的な評価の一環として、どなたが以下の情報を参考にしていますか。

(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまるもの全てに○を付けてください。

外部の個人 又は 機関	校長	校長以外の 学校運営 チーム メンバー	組織内 指導者 (メンター)	学校運営 チーム メンバー 以外の教員	行って いない
-------------------	----	------------------------------	----------------------	------------------------------	------------

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| (1) 授業観察 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (2) 教員の指導に関する児童へのアンケートの結果 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (3) 教科内容に関する教員の知識についての評価 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (4) 指導している児童の外部テスト（例：全国学力調査）の結果..... | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (5) 学校内と学級内での児童の成果（例：成績、プロジェクトの成果、テストの点数） | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| (6) あなたの自己評価（例：ポートフォリオの評価の提出、ビデオを使った自身の授業分析）..... | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

問25 あなたの学校では、公的な教員評価の結果を受けて、以下のことがどのくらいの頻度で行われていますか。

(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	時々	頻繁に	常に
----	----	-----	----

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 授業での指導の欠点を改善する方策について教員と話し合いを持つ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) 研修計画を策定する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) 定期昇給の減額などの処分を課す | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) 指導の改善を支援する校内指導者（メンター）を指名する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) 校内での職務責任を変更する（例：担当時間数や校務分掌に関する責任、校内指導者の責任を増やす又は減らす） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) 給与や賞与の額を増やす | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (7) 教員の昇進の見込みを変える | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (8) 教員の解雇や雇用契約の不更新 | 1 | 2 | 3 | 4 |

学校の雰囲気

問26 この学校について、以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常に良く当てはまる
-----------	---------	-------	------------

- (1) この学校は、教職員が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (2) この学校は、保護者が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (3) この学校は、児童が学校の意思決定に積極的に参加する機会を提供している 1 2 3 4
- (4) 学校の課題について、責任を共有する文化がある 1 2 3 4
- (5) 重要な意思決定は私自身が行う 1 2 3 4
- (6) お互いに助け合う協力的な学校文化がある 1 2 3 4
- (7) 教職員は、指導や学習についての信念を共有している 1 2 3 4
- (8) 教職員が、校内で一貫して児童の行動に関する規則を守らせている 1 2 3 4
- (9) 学校は、教職員が率先して新しい試みをするよう促している 1 2 3 4
- (10) 通常、教員と児童は互いに良好な関係にある 1 2 3 4
- (11) 教員は、互いに信頼しあうことができる 1 2 3 4

問27 あなたの学校では、以下のことがどの程度当てはまりますか。

(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全くなし	いくらか 当てはまる	かなり 当てはまる	非常に 良く 当てはまる
------	---------------	--------------	--------------------

- (1) 教員は学校の教育課程の目標を理解している 1 2 3 4
- (2) 教員は学校の教育課程を実施できている 1 2 3 4
- (3) 教員は児童の成績に高い期待を抱いている 1 2 3 4
- (4) 保護者は、児童が良い成績を修めるよう支援して
いる 1 2 3 4
- (5) 保護者は学校の活動に参加している 1 2 3 4
- (6) 児童は学校で良い成績を取りたいという意欲を
もっている 1 2 3 4
- (7) 学校は地域のコミュニティと協力している 1 2 3 4

問28 以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 当てはまら ない	当てはまら ない	当てはまる	非常に良く 当てはまる
-------------------	-------------	-------	----------------

- (1) この学校は、別のやり方をする必要があると
ときにはそのことをすぐに認識する 1 2 3 4
- (2) 学校は、必要な場合には、変化に即座に対応
する 1 2 3 4
- (3) 学校は、新しいアイデアをちゅうちょなく受
け入れる 1 2 3 4
- (4) 学校は、新しいアイデアの発展のために、す
ぐに支援を行える 1 2 3 4

問29 あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。

(1)～(15)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く妨げになっていない	いくらか妨げになっている	かなり妨げになっている	非常に妨げになっている
-------------	--------------	-------------	-------------

- (1) 資格を持つ教員の不足 1 2 3 4
- (2) 特別な支援を要する児童への指導能力を持つ教員の不足 1 2 3 4
- (3) 職業教育を行う教員の不足 1 2 3 4
- (4) 教材(教科書など)が不足している、あるいは適切でない 1 2 3 4
- (5) 指導のためのデジタル技術が不足している、あるいは適切でない(例:ソフトウェア、コンピュータ、タブレット、電子黒板) 1 2 3 4
- (6) インターネット接続環境が不十分である 1 2 3 4
- (7) 図書館の教材が不足している、あるいは適切でない 1 2 3 4
- (8) 支援職員の不足 1 2 3 4
- (9) 指導のための場所が不足している、あるいは適切でない(例:教室) 1 2 3 4
- (10) 物理的な施設設備が不足している、あるいは適切でない(例:学校家具、校舎、空調機、照明器具) 1 2 3 4
- (11) 多言語又は多文化の環境で、児童を指導する能力を持つ教員の不足 1 2 3 4
- (12) 社会経済的に困難な家庭環境にある児童を指導する能力を持つ教員の不足 1 2 3 4
- (13) 職業能力を訓練するために必要な教材が不足している、あるいは適切でない 1 2 3 4
- (14) 教育的リーダーシップを発揮する時間が不足している、あるいは適切でない 1 2 3 4
- (15) 児童と過ごす時間が不足している、あるいは適切でない 1 2 3 4

問30 あなたの学校では、以下のことが児童の間でどのくらいの頻度で起こっていますか。

(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	月1回 未満	毎月	毎週	毎日
----	-----------	----	----	----

- (1) 器物損壊・窃盗 1 2 3 4 5
- (2) 児童間の脅迫又はいじめ（又は、他の形態の暴言） 1 2 3 4 5
- (3) 児童間の暴力による身体的危害 1 2 3 4 5
- (4) 教職員への脅迫又は暴言 1 2 3 4 5
- (5) 薬物の使用・所持や飲酒 1 2 3 4 5
- (6) 児童についてのインターネット上の中傷的な情報に関する児童や保護者からの報告 1 2 3 4 5
- (7) 児童間の、オンラインでの望ましくない接触（例：ショートメール、Eメール、SNS）に関する児童や保護者からの報告 1 2 3 4 5

初任者研修及び校内指導（メンタリング）

このセクションでは、初任者研修と校内指導（メンタリング）についてお尋ねします。

「初任者研修」とは、初任者に対する教職への導入を支援したり、又は経験がある教員に対する新しい赴任校への導入を支援したりする研修のことです。それらは、公式に体系化されたものである場合と、非公式なものがあります。

「校内指導（メンタリング）」は、経験のある教員が経験の少ない教員を支援する校内の仕組みのことです。学校内の全教員を対象にすることもあれば、初任者だけを対象にすることもあります。

問31 あなたの学校の初任者には、初任者研修を受ける手段がありますか。

(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

(1) 初任者に対する公式な初任者研修がある 1 2

(2) 初任者に対する非公式な初任者研修がある 1 2

(1)と(2)への回答が両方とも「いいえ」の場合 → 問34へお進みください。

(1)への回答のみ「いいえ」の場合 → 問33へお進みください。

問32 あなたの学校では、どのような教員が公式な初任者研修プログラムを受けますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 この学校に新たに着任した全ての教員
- 2 初めて教職に就いた者のみ

問33 この学校の教員が受ける初任者研修には、以下のような内容が含まれていますか。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- | | | | |
|------------------------------------|---|-------|---|
| (1) 対面式の講座やセミナー | 1 | | 2 |
| (2) オンライン上の講座やセミナー | 1 | | 2 |
| (3) オンライン上の活動（例：バーチャルコミュニティ） | 1 | | 2 |
| (4) 校長や経験豊富な教員との話し合いの設定 | 1 | | 2 |
| (5) 校長や経験豊富な教員による監督指導 | 1 | | 2 |
| (6) 他の新任者との交流及び連携 | 1 | | 2 |
| (7) 経験豊富な教員とのチーム・ティーチング | 1 | | 2 |
| (8) 日誌、記録の作成 | 1 | | 2 |
| (9) 指導上の負担の軽減 | 1 | | 2 |
| (10) 一般的な学校事務の説明 | 1 | | 2 |

問34 あなたの学校には教員向けの校内指導（メンタリング）のプログラムがありますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 初めて教職に就いた者のみを対象としたプログラムがある
- 2 この学校に着任した全ての教員を対象としたプログラムがある
- 3 この学校の全ての教員を対象としたプログラムがある
- 4 現時点において、教員向けの校内指導（メンタリング）のプログラムはない → 問37へお進みください。

問35 校内指導者（メンター）の主な担当教科等は、指導を受ける教員の主な担当教科等と同じですか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 大半の場合同じ
- 2 同じ場合が時々ある
- 3 同じ場合はほとんどない

問36 あなたは、教員や学校にとって、以下のことに関する校内指導（メンタリング）の重要度をどのように評価していますか。

(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

なし	低い	中程度	高い
----	----	-----	----

- | | | | | |
|-------------------------------|---|---|---|---|
| (1) 教員の指導力の改善 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) 教員の職業上の自覚の強化 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) 教員同士の連携の改善 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) 指導経験の少ない教員への支援 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) 教員の主な担当教科等に関する知識の伸長 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) 児童の一般的な学習成果の改善 | 1 | 2 | 3 | 4 |

多様な環境における学校教育

このセクションでは、文化的な多様性に重点を置いて、多様性を考慮した学校の方針や実践についてお尋ねします。

「多様性」とは、児童や教職員の背景の違いを認識し、尊重することを指します。文化的な多様性とは、特に文化的、民族的な背景を指します。

問37 あなたの学校には、異なる文化的又は民族的な背景を持つ児童がいますか。

当てはまるものに一つ○を付けてください。

- 1 はい
- 2 いいえ → 問39 へお進みください。

問38 あなたの学校では、多様性に関する次のような実践が行われていますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 多様な民族的、文化的なアイデンティティを児童が表現することを促す活動や組織を支援する（例：芸術的なグループ） 1 2
- (2) 多文化的な行事を開催している（例：異文化と触れ合う学校でのイベント） 1 2
- (3) 民族的、文化的な差別にどう取り組むかを児童に教える 1 2
- (4) カリキュラム全体を通して、地球規模の問題を取り入れた指導及び学習の実践を導入する 1 2

問39 あなたの学校では、次のような取組が行われていますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

はい	いいえ
----	-----

- (1) 児童に、異なる社会経済的な背景を持つ人々を受け入れるよう教える 1 2
- (2) 性差別に対する方針を明確にする 1 2
- (3) 社会経済的な差別に対する方針を明確にする 1 2
- (4) 不利な背景を持つ児童へ追加の支援を行う 1 2

問40 あなたの意見では、この学校で、およそ何人くらいの教員が次のことに同意すると思いますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

いない、 又は ほとんど いない	数人いる	多数いる	全員、 又は ほとんど 全員
---------------------------	------	------	-------------------------

- (1) 児童の文化的背景の違いにすぐに対応できることは重要である 1 2 3 4
- (2) 異なる文化の人々は異なる価値観を持ち得ることを児童が学ぶのは重要である 1 2 3 4
- (3) 子供や若者は、できるだけ早い時期に多文化を尊重することを学ぶべきである 1 2 3 4
- (4) 子供や若者は、文化的に異なる人々の間多くの共通点があることを学ぶべきである 1 2 3 4

問41 あなたの意見では、この学校で、およそ何人くらいの教員が次のことに同意すると思いますか。

(1)～(4)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

いない、 又は ほとんど いない	数人いる	多数いる	全員、 又は ほとんど 全員
---------------------------	------	------	-------------------------

- (1) 学校は、異なる社会経済的な背景を持つ児童が共に活動することを促すべきである 1 2 3 4
- (2) 児童は、性差別を避ける方法を学ぶべきである 1 2 3 4
- (3) 男子児童と女子児童を平等に扱うことは重要である 1 2 3 4
- (4) どのような社会経済的な背景を持つ児童に対しても、同じように接することは重要である 1 2 3 4

仕事に対する満足度

問42 今後何年間、校長として働き続けたいと思いますか。

数字を記入してください。

□□ 年

問43 あなたの学校での業務に関して、以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

(1)～(9)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く 感じない	いづらか 感じる	かなり 感じる	非常に良く 感じる
------------	-------------	------------	--------------

- (1) 教員の評価やフィードバックなどの業務が多すぎる事 1 2 3 4
- (2) 事務的な業務が多すぎる事 (例：書類への記入) 1 2 3 4
- (3) 教職員の欠勤による追加的な業務がある事 1 2 3 4
- (4) 児童の学力に対して責任を負っている事 1 2 3 4
- (5) 学校の規律を保つ事 1 2 3 4
- (6) 児童に脅されたり児童から暴言を受けたりすること 1 2 3 4
- (7) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること 1 2 3 4
- (8) 保護者の懸念に対処すること 1 2 3 4
- (9) 特別な支援を要する児童の環境を整えること 1 2 3 4

問44 あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常に良く当てはまる
-----------	---------	-------	------------

- (1) 校長の仕事は、悪いことより、良いことの方が明らかに多い 1 2 3 4
- (2) もう一度仕事を選べるとしたら、また校長になりたい 1 2 3 4
- (3) 可能なら、別の学校に異動したい 1 2 3 4
- (4) 校長になったことを後悔している 1 2 3 4
- (5) 現在の学校での仕事を楽んでいる 1 2 3 4
- (6) 他の職業を選んでいた方が良かったかもしれないと思う 1 2 3 4
- (7) この学校を良い職場だと人に勧めることができる 1 2 3 4
- (8) 教職は社会的に高く評価されていると思う 1 2 3 4
- (9) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している 1 2 3 4
- (10) 全体としてみれば、この仕事に満足している 1 2 3 4

問45 以下のことはどの程度当てはまりますか。

(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまるものに一つ○を付けてください。

全く当てはまらない	当てはまらない	当てはまる	非常に良く当てはまる
-----------	---------	-------	------------

- (1) 職務に対して支払われる給与に満足している 1 2 3 4
- (2) 給与以外の校長としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間） 1 2 3 4
- (3) この学校の教職員から受ける支援に対して満足している 1 2 3 4
- (4) 国、地方自治体から、より多くの支援が必要である 1 2 3 4
- (5) 自分の職務にとって重要な意思決定に影響を与えることができない 1 2 3 4

質問はここまでです。

御協力ありがとうございました。

校内締め切り日までに、校内担当者に御提出願います。